

流通経済大学 vs 慶應義塾大学

4月28日(日)
13:50K.O.
荻野

「0-0で悪いゲームではなかったと思うが、3試合で1点しか取っていないので課題は多い」

と話すのは、流経大の中野雄二監督。互いに戦う姿勢を前面に出した好ゲームを展開した前節の明大戦だが、なかなか勝ちきれないというのが実情だ。

徹底的にトレーニングしてきた守備の部分では成果が表れてきているが、今後の課題はやはり攻撃面。

「1-0で勝たなかった。後半も決定的なところがあった。点を取ることに對してのダイナミックさ、積極性があったら、もっと勝点3に近づかず」(中野監督)

3試合を終わって2分1敗と結果は出ていないが、ここで焦って自分たちの形を崩すようなことはせず、このままレベルアップしていけば必ず勝点3は奪取できるはずだ。

開幕3連敗と、ついに最下位へ転落してしまった慶大。前節もまったくいいところがなく、専大に1-6の大敗を喫ってしまった。

「非常にふがいない試合だった」

と、あまりにも内容に須田芳正監督も言葉は少なかった。

それでも前半はいくつかチャンスを作って、自分たち

のサッカーをある程度は表現できていた。先制点を献上しながらも同点に追いつく粘りをみせたが、それが後半まで続かなかったことが問題。個々のレベルを見れば技術の高い選手がそろっているだけに、それをどうチームとして発揮していくのか——。今節の対戦相手である流経大は、強い気持ちでこの試合に臨んでくるはず。受け身になれば前節の二の舞もあり得るだけに、負けられない精神力で臨みたい。

「選手たちの意気込みに期待したい」(須田監督)

昨年の対戦：前期/流経大1-1慶大、後期/流経大4-3慶大
流経大 慶大

16. 湯澤	4. 中美	6. 山浦	2. 岩田
32. 中津川	10. 黒田		4. 保田
		8. 松下	
1. 原田	8. 丸本	18. 田上	9. 平戸
			11. 近藤
			5. 増田
5. 川崎	6. 富田		32. 宮地
2. 田向	9. 石井	10. 武藤	3. 長尾

明治大学 vs 国士舘大学

4月28日(日)
13:50K.O.
麻溝

流経大との前節は、0-0のスコアレスドローに終わった明大。3試合を終えて1勝1分1敗と波に乗りきれない結果だが、内容だけ見れば決して悪いものではなかった。

「うまくはないけれど、お互いに戦う気持ちが前面に出た大学サッカーらしい素晴らしいゲームだったと思う。それで得た勝点1であり、しかも無失点は非常に価値があると思う」(神川明彦監督)

特に、前期リーグの課題である守備の部分では、チーム全体をコンパクトに保ちながら体を張って無失点に抑えることができただけに、大きな収穫だろう。ただし、問題は攻撃面。

「最後のオフenseivサードの精度やアイデアは、今年の永遠の課題になると思う」(神川監督)

いかにゴールを奪っていくかがカギだ。

「夢だったら覚めてほしいような試合だった」

とは、順大戦を終えた国士大・細田三二監督の弁。順大に0-5の大敗とあっては、肩を落とすのも当然だろう。自分たちのプレーがまったくできなかった。

「相手の前へ、前へとくる攻撃に對して構えてしまった。ウチの選手は、相手がそういう攻撃をしてくると思

っていないかった」(細田監督)

意表を突くアグレッシブな順大の攻撃に對し、前半13分と比較的に早い時間帯に失点。そこで立て直せばよかったが、38分、40分と前半だけで3失点を喫ってしまった。

「自分たちで気がついて修正しなければいけなかった」(細田監督)

相手のやり方に対するの対応力不足を露呈。何とか修正していきいたいところだが……。

昨年の対戦：前期/明大1-2国士大、後期/明大3-1国士大
明大 国士大

2. 八塚	8. 和泉	18. 橋	29. 山田
32. 小出	9. 西澤	9. 坂谷	13. 仲島
	10. 矢田		20. 松本
1. 三浦			1. 小澤
	34. 伊池		7. 橋本
3. 山越	11. 野間	16. 平松	3. 吉田
5. 小川	27. 秦	14. 進藤	6. 嶺岸

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.4 Division1



編集：加茂郁実 印刷：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が3連勝で首位をキープ

『JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦』も3節を終え、徐々に各チームの実力が見え始めた。まずは前節を振り返ってみよう。

3連覇を目指し、首位を走る専大。開幕から2試合続けて相手に先制点を献上してきたが、前節の慶大戦は立ち上がりゴールを奪って主導権を握る。一度は同点に追いつかれたものの、結局、6-1で慶大を下して3連勝。攻撃陣はかなり好調といえるだろう。慶大は粘り強いプレーが発揮できなかった。

同じく連勝スタートを切った日体大は東洋大と対戦。1失点こそしたものの、しっかりと3点を奪って3-1の勝利を収め、こちらも3連勝を飾った。東洋大は一步及ばない試合が続いている。

連勝スタートの中大 vs 連敗スタートの桐蔭大は、前半終了間際に桐蔭大が先制点を奪ったが、後半立ち上がり中大が追いつき、その後は膠着状態。結局、1-1のドローに終わった。中大は痛いドロー、桐蔭大は初勝点をゲットした。

例年同様、前期になかなか本領を発揮できない明大。前節の流経大戦も相手の粘り強いプレーの前に力を出しきれず、0-0のスコアレスドローに終わった。流経大は粘りのプレーを見せるものの、勝ちき

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	4点
長澤 和輝(専大)	3点
長谷川竜也(順大)	3点
前澤 甲気(専大)	3点
山根 視来(桐蔭大)	3点

アシストランキング

仲川 輝人(専大)	3アシスト
稲葉 圭吾(専大)	2アシスト
梅村 徹(日体大)	2アシスト
宮内 啓太(日体大)	2アシスト

るまでには至っていない。

早大 vs 筑波大は、早大が筑波大を1-0で下した。まだ課題も多いが、勝ちながら自信をつけている早大。逆に、筑波大はいい部分がありながらも結果に結びつかない試合が続いている。

波に乗りきれない国士大と順大の一戦だが、この対戦は順大が5ゴールと快勝。国士大は守備が破たんしてしまった。

3節を終えて、専大と日体大が3連勝を飾り、このまま突っ走るのかが注目される所だ。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	日体大	中大	順大	早大	明大	東洋大	国士大	流経大	筑波大	桐蔭大	慶大	勝数	分数	負数	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大		5月26日	5月18日	4月27日	後半戦	後半戦	301	5月3日	5月6日	5月12日	602	601	3	0	0	15	4	11	9
2	日体大	BMWス		4月28日	5月3日	5月18日	後半戦	301	100	200	後半戦	5月6日	5月11日	3	0	0	6	1	5	9
3	中大	味フィ西	三ツ沢		200	後半戦	5月26日	5月4日	後半戦	5月11日	5月6日	1Δ1	100	2	1	0	4	1	3	7
4	順大	フクアリ	千葉東総	0●2		100	5月5日	5月11日	500	5月18日	5月25日	後半戦	後半戦	2	0	1	6	2	4	6
5	早大	後半戦	たつこの	後半戦	0●1		5月12日	5月6日	5月25日	5月4日	100	4月28日	201	2	0	1	3	2	1	6
6	明大	後半戦	後半戦	味フィ西	フクアリ	味フィ西		0●1	4月28日	0Δ0	5月19日	302	5月3日	1	1	1	3	3	0	4
7	東洋大	1●3	1●3	荻野	古河	三ツ沢	100		5月19日	後半戦	4月27日	後半戦	5月26日	1	0	2	3	6	-3	3
8	国士大	味フィ西	0●1	後半戦	0●5	味フィ西	麻溝	川口		後半戦	201	5月11日	5月5日	1	0	2	2	7	-5	3
9	流経大	たつこの	0●2	たつこの	味フィ西	たつこの	0Δ0	後半戦	後半戦		1Δ1	5月26日	4月28日	0	2	1	1	3	-2	2
10	筑波大	味フィ西	後半戦	味フィ西	味フィ西	0●1	川口	フクアリ	1●2	1Δ1		5月4日	後半戦	0	1	2	2	4	-2	1
11	桐蔭大	2●6	味フィ西	1Δ1	後半戦	BMWス	2●3	後半戦	味スタ西	BMWス	たつこの		5月18日	0	1	2	5	10	-5	1
12	慶大	1●6	古河	0●1	後半戦	1●2	江戸陸	味フィ西	荻野	荻野	後半戦	たつこの		0	0	3	2	9	-7	0

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

勇気は、努力がつくってくれる。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/



筑波大学 vs 東洋大学

4月27日(土)
11:30K.O.
フクアリ

前節も早大に0-1の敗戦と、なかなか力を発揮しきれない筑波大。決して攻められる一方ではなく、自分たちが保持してゴール前までボールを運んだが、「かなり相手を押し込むことができていたけれど、その先に進むことができなかった」(松倉啓太コーチ)

というように、相手の堅い最後のブロックを崩せず、フィニッシュに結びつけるには至らなかった。

守備面では1失点したものの、開幕したころに比べるとチームとしての意思統一がとれてきたといえるし、対応もかなりレベルアップしてきた。それだけに、あとはいかにゴールを奪っていくかがポイントだ。

「ゴール前に入っていく姿勢、思いきりのよさを、もう一度確認したい」(松倉コーチ)

ゴールが取れるようになれば、大きく変わる可能性を秘めているが……。

前節は前半だけで3失点を喫してしまった東洋大。「とにかく前半がすべて」(古川毅監督)

というように、10分の先制点献上は相手が一枚上手だったとしても、その後、ズルズルとってしまったのがいただけなかった。

「1失点しても、その後に耐える力がなければ盛り返す

ことができない」(古川監督)

後半は自分たちがペースを握る時間帯もあっただけに、守備陣が耐えればチャンスは十分に広がるはず。「後半、選手たちは強い意志を見せてくれたので、そこは次につながると思う」(古川監督)

黒須大輔(4年)の出場停止は影響がありそうだが、筑波大を相手にどれだけ自分たちの戦いができるか。今後を占う大事な一戦となりそうだ。

出場停止：黒須大輔(東洋大)
昨年のリーグ戦での対戦はなし

筑波大			東洋大		
12. 三丸	23. 吉川		14. 平石	7. 馬渡	
4. 岸				5. 藤井	
	3. 谷口			10. 桑田	
1. 神舎	11. 中野	9. 赤崎	13. 川森	34. 飯島	1. 浅沼
	8. 上村			33. 篠田	
2. 田代				4. 郡司	
6. 片岡	13. 曾山		9. 三田	30. 石坂	

早稲田大学 vs 桐蔭横浜大学

4月28日(日)
13:50K.O.
BMWス

「早大らしく戦えたと思う」(古賀聡監督)

筑波大を1-0で下して、首位の専大を追走する早大。粘り強く守備をしながらボールを奪う意識をしっかりと持って、奪ったあとには必ずチャンスを作るという自分たちの持ち味を発揮した。

「粘り強さとアグレッシブさの両面を持って戦うことができたのがよかった」(古賀監督)

1-0のスコアは、まさに早大の真骨頂ともいえるだろう。一方で、「まだまだファーストDFがうまくはまらない。簡単にドリブルではがされてしまうような場面があったので、そういったところは改善していかなければいけない」(古賀監督)

と、反省も忘れない。しかし、連勝したことでチームに自信が出てきた。

「優勝しかないので、勝ち続けられるようにしっかりと高めていく」(古賀監督)

開幕2連敗スタートと苦しんでいた桐蔭大。前節の中大戦を1-1で引き分け、ようやく初勝点をゲットした。

「ようやく呪縛が解けたのではないかな。普段どおりのプ

レーができた」(八城修監督)

これまでの2試合はやや消極的なプレーが目立ったが、前節は受け身にならず、全員が積極的なプレーを実践。それが勝点ゲットにつながったのは間違いない。「自分たちの流れを相手に渡さず、ボールがなくても主導権を持ったままプレーができた」(八城監督)

次は勝点3に結びつけたいところ。ボールを奪ったあとのサポートが遅く、せっかく取ったボールを失ってしまう場面などを修正していく必要がある。

昨年のリーグ戦での対戦はなし

早大		桐蔭大	
6. 三竿	8. 近藤洋	8. 山崎	3. 香西
13. 金澤	11. 片山		6. 福島
	18. 小松		9. 大泉
1. 松澤		10. 坪井	5. 金子
	5. 池西		7. 平山
2. 奥山	9. 榎本		4. 古澤
12. 八角	7. 近藤貴	11. 山根	20. 長谷

専修大学 vs 順天堂大学

4月27日(土)
13:50K.O.
フクアリ

3連覇を狙う専大。前節も慶大を6-1で一蹴し、無傷の3連勝を飾った。特に、前節の大きな収穫は、前半14分に仲川輝人(3年)が先制点を奪ったことだろう。これまで攻め込みながらもなかなか先制点を奪えず、逆に失点するパターンが多かっただけに、さらに自信を深めていきそうな雰囲気。実際、早い時間帯にゴールを決めたことにより攻撃陣は伸び伸びとプレーし、それが大量得点につながったといえる。ディフェンスにやや不安を抱えているだけに、こういった試合展開を今後も増やしていきたい。

また、攻撃面でもまだまだ改善の余地はある。「もっといい内容の試合ができると思うので、もう少し突き詰めてやっていきたい」(源平貴久監督)

一方の順大だが、前節の戦い方は徹底していた。「早い段階で積極的にボールを奪って得点に結びつけていく、根底にあるシンプルな発想が機能した」(吉村雅文監督)

これまではボールを奪おうと思っても奪えなかったり、または奪ったあとのミスなどでなかなか思うようなサッカーができなかっただけに、大きな1勝といえる。一方で、

「もう一つ前の展開のときにボールを奪える力をつけたいし、押し込まれているときの安定感がもっと必要。全体的なレベルをもっと上げたい」(吉村監督)

相手のミスに助けられたところもあっただけに、思うようにいかなかったときにチームとしてどのようにボールを奪っていくか、さらに追求したい。特に、この専大戦で自分たちのサッカーがはまれば、波に乗るのは間違いないはずだ。

「いいところはもう少し伸ばしたい」(吉村監督)

昨年の対戦：前期/専大3-1順大、後期/専大7-0順大

専大			順大		
34. 小口	11. 前澤		9. 岡庭	16. 吉永	
4. 本名			10. 井村	24. 矢部	
	7. 長澤			6. 岡崎	
1. 福島	14. 星野	22. 山川		21. 大畑	
	8. 下田			22. 長谷川涼	
3. 萩間			11. 原田	13. 宮本	
2. 北爪	10. 仲川		14. 長谷川竜	2. 友澤	

中央大学 vs 日本体育大学

4月28日(日)
13:50K.O.
三ツ沢

前節、桐蔭大に引き分け、上位争いから一歩後退してしまった中大。まだ序盤とはいえ日体大との直接対決に敗れば差が開いてしまうだけに、絶対に負けられない一戦だ。

「前半の入りが悪い。後半のような戦いを常にできるように目指さなければ、上位には食い込んでいけない」と、白須真介監督の表情も険しい。

「反省だらけ。前半、相手が前から来るのに対して少し怖がり、ボールを下げたりしていた。実際、失点のときはそういう局面だった。その際にしっかりと前を向いたり、中盤同士で相手を外すためにワンツーを仕掛けたり、ドリブルで外したりする状況を作り出せなかった。日体大戦は前半戦の一番重要なゲーム」(白須監督)

中大の真価が問われる。

開幕3連勝と結果を出している日体大。前節も東洋大に3-1で勝利を収めたが、「課題もみつかった試合だった」(倉又寿雄監督)

というように、勝ったからよしとはしない厳しさを持って今リーグに臨んでいる。

「失点シーンはファウルのアピールに対して審判が取ってくれなくて、感情的になってボールを奪いにいったと

きに崩されてPKを与えてしまった。相手ボールの際も、もっと冷静に戦わないといけない。今までできていた部分を感情的になることで変えてしまったので、そこをしっかりと直していきたい」(倉又監督)

また、前半はアグレッシブに攻撃し3ゴールを奪ったが、後半はリードしていることでうまく試合をコントロールしようとしたのかペースダウン。後半もペースを上げていくことができるようになれば、さらにいいチームに仕上がっていくはずだ。

昨年の対戦：前期/中大0-0日体大、後期/中大2-1日体大

中大		日体大	
6. 高瀬	10. 澤田	7. 梅村	35. 川田
3. 大和田			4. 菊地
	8. 田辺		6. 石井
21. 置田	25. 渋谷	9. 木村	1. 伊藤
	4. 細見		10. 稲垣
5. 岡崎	11. 川越		5. 中西
2. 古賀		15. 阿部	2. 宮内

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想